



[様式第3号]

資料提供年月日	令和4年10月26日	
問い合わせ先	課名	環境事業課
	電話	直通 803-1321 内線 3966
担当者	職名・氏名	課長 岡崎 功
	職名・氏名	主任 平田 健二

広 報 連 絡

- 件 名 岡山市立竜操中学校で桃太郎のまちダンボールコンポストを使ってSDGsに取り組めます（令和4年10月31日開始）
- 趣 旨 岡山市立竜操中学校の学生が環境教育の授業の中で、生ごみの減量化・資源化のため岡山市環境事業課が取り組んでいる「桃太郎のまち岡山コンポスト」を用いて、生ごみのリサイクルを学びます。また、教材として使用したコンポストを使って卒業生へ贈る花を育てます。
- そ の 他 「桃太郎のまち岡山コンポスト」及び竜操中学校の取り組みの詳細については別添の資料を参照してください。
- 問 合 せ 先 岡山市立竜操中学校 永野（ながの）
電話 086-272-9696
ファクス 086-272-9695

岡山市立竜操中学校 1年C組 SDGsの取組みについて

～身近な食品ロスである給食残渣から、卒業生への花壇を作ろう～

<目的>

総合の学習の時間でSDGsについて調べ学習を行った。その中でC組は食品ロスに目を向けて、より深く調べ自分達にできることはないか考えた。そこで身近な食品ロスである給食残渣をコンポストで肥料に変え、卒業生への花壇を作ろうと計画した。生徒が身近にSDGsを捉え、自分達でもできることを考え行動を起こそうとする姿を養い、コロナ感染症の影響で様々な行事を一緒に取り組めず、学年別での開催になっている中、3年生へ感謝の想いを伝える機会を作る一環にするため。

<1年C組 SDGsの取組み>

- 9月16日文化発表会にて、クラス代表がパワーポイントを使って発表
- 廊下掲示用に約2mのパネルを作成



<スケジュールと流れ>

- ① 9月上旬(総合の時間)SDGsについて調べ学習
- ② 9月16日 文化発表会
- ③ 9月下旬(総合の時間)コンポストを使い給食残渣を堆肥化し、卒業生に向けた花を育てる取組みの実施の決定
- ④ 10月31日 コンポスト作成 →給食残渣をもらい始める 40日間
- ⑤ 12月26日 熟成 1ヶ月
- ⑥ 1月30日 完成
- ⑦ 1月30日～総合+放課後 花壇へ(花の発注の時期が前後可能性あり)
- ⑧ 3月10日 卒業式

桃太郎のまち岡山コンポスト

～Q&A～

Q1 ダンボールコンポストに投入できないものは何ですか？

A1 貝殻や獣肉の骨（手羽先やスペアリブの骨）は分解されないため投入できません。
カニやエビの甲羅、魚の骨は投入できますが、臭いが発生することがあります。
※生肉・生魚は投入できません。

Q2 生ごみの分解がすすみません。

A2 いくつかの要因が考えられます。
1. 生ごみが大きい
→生ごみを小さく切る（細かくする）。
2. 気温が低い（特に冬場）
→微生物の力がどうしても弱まるので、
①投入量を減らす。
②乾燥を防ぐための水分を40℃くらいのお湯にする。
3. 乾燥する
一定の水分量を維持してください。目安は、最初に基材を投入したときの“握ると団子になるが、すぐに崩れる固さ”です。
4. 発酵を促進しやすい生ごみを投入する
廃食用油（100グラムくらいまで）や天かすはおすすめです。

Q3 害虫が発生します（しました）。

A3 発生した場合
1. 投入を一時中断し、ダンボールごと入る黒いビニール袋に入れ、1日中日光のあたる場所に置いてください。（熱により虫が死滅します。）
発生を予防する
1. 新鮮な生ごみを投入する。日中置いておくとも虫が卵を産み付けることになるため、夏場だと小バエ（虫）が発生しやすくなります。
2. Tシャツなどでフタをする。
3. 屋外にコンポストを置く場合、風でフタが飛ばないように置き場所を工夫する。

Q4 40日投入後、熟成期間中はコンポストはもらえないのですか。

A4 配布していますので、ホームセンタータイムでいただいでください。

（注）
・季節によって生ごみ投入量を調整してください。（夏：多、冬：少）
・水分を含む生ごみは注意しましょう。（コンポストが水分で壊れてしまう場合があります。）
・毎日の投入量を守り、コンポストを大事に育てましょう。（必要以上に生ごみを入れすぎないこと）

<問合せ先>
岡山市環境局環境事業課 資源循環推進室
岡山市北区大供一丁目2番3号 TEL：086-803-1321

桃太郎のまち岡山コンポスト ハンドブック

生ごみリサイクルで減量
～一軒家でもマンションでも、一家に一台コンポスト～



- ホームセンタータイム岡山市内各店舗でダンボールコンポストは配布しています。
- できた堆肥（コンポスト）はタイムで回収をしています。（土・日のみ）
- 回収時に、お買い物割引券と交換しています。（持込む時は、必ずナイロン袋に入れてください。）

桃太郎のまち岡山コンポスト ハンドブック

STEP 1

ダンボール箱を組み立てます。
底はガムテープで止め、穴や隙間をふさぎます。
中底敷き用のダンボールを用意して、中に敷いてください。(285mm×320mm)



ここがポイント

- 紙テープより耐久性のある布テープを使用すると長持ちします。
- 底の部分だけでなく、側面のつなぎ目も塞ぎましょう。害虫の侵入を防げます。

STEP 2



全体がこのよう
な感じになるよ
うに混ぜる

コンポストの基(基材)を箱に投入してください。
(お渡しした基材の全量です。)
入れたばかりの状態は乾いているので、500ml~1L程度の水を加えて水分調整をしてください。



(ダンボールコンポストキット)

ここがポイント

- “握ると団子になるが、すぐに崩れる固さ”が適度な水分状態です。混ぜ合わせながら、ペットボトルなどで少しずつ水を加えると上手くできます。
- 水を入れすぎないように注意してください。
- 冬場など気温が低いときは、室内におくことで、発酵を促進させることができます。
(冬場などの水分追加は40度くらいのお湯だと発酵促進します。)

STEP 3

軒下やベランダなど雨の当たりにくい場所に設置します。
風通しの良い台や木片の上にダンボールを置いてください。
(通気性をよくすることで、基材の活性化が図れます。)



ここがポイント

- ダンボール箱の上に、布などの通気性のよい素材のカバーをかけてフタをすることで、害虫の侵入が防げます。
- カバーは使い古しのTシャツを利用することができます。
- ビールケースや育苗台を使うとお手軽です。

STEP 4

いよいよ生ごみを投入します。
生ごみを投入したら、よく基材と混ぜ合わせてください。
1日に投入できる量は、およそ三角コーナ一杯分(約500~800g)を目安としてください。



ここがポイント

- 生ごみはできるだけ新しいうちに投入しましょう。
(小バエ(虫)の発生が防げます)
- 生ごみはできるだけ小さくカットしましょう。
- 生肉、生魚は一度火を通しましょう。(腐ってしまいます。)
(裏面Q&Aを参考にしてください。)



STEP 5



途中、白カビが生えたら順調です。
約40日投入したら投入をやめてください。
投入終了後、1ヵ月程度熟成させてください。
※熟成中の方にも新しいコンポストは配布しています。

ここがポイント

- 熟成中も空気に触れさせるため、攪拌は行ってください。